



■ 明治大学マンドリン倶楽部演奏会

明治大学マンドリン倶楽部の演奏会を存分にお楽しみください。

日時 3月4日(金) 18:30開演 (18:00開場)

場所 コスモホール (情報文化センター)

ゲスト う〜み

入場料 【全席自由】
2,500円 (当日各500円増し)

チケット販売場所 情報文化センター、文化会館、市民会館、ミリカホール、平惣書店ほか

問い合わせは 情報文化センター (☎44-5000) へ

■ 夢ホール ホワイエコンサート

日時 3月12日(土)
14:00開演

場所 夢ホール (文化会館)

出演 山中雅博 (テノール)
増田敏子 (ピアノ)

プログラム 宵待ち草、荒城の月、オペラ「トスカ」より星は光りぬ ほか

入場料 500円 (ワンドリンク付き)
仲良しチケット (2人以上: 1人につき 400円) は前売りのみの取扱い。電話予約できます。
※未就学児は入場無料

販売場所 文化会館

問い合わせは 文化会館 (☎21-0808) へ



■ 「阿南市の文化財 第2集」 「探訪ふるさと阿南」～絶賛発売中～

●「阿南市の文化財 第2集」

平成11年度発刊「阿南市の文化財」の続編
価格 1冊1,000円

●「探訪ふるさと阿南」

広報あなんに掲載されている「ふるさと探訪」の連載100回記念誌
著者 湯浅良幸
価格 1冊500円

販売場所 文化振興課 (文化会館内)、
阿波公方・民俗資料館

問い合わせは 文化会館 (☎21-0808) へ

■ しまじろうコンサート 「しまじろうとロボットのくに」チケット発売中!



会場一体となって奇跡を起こす感動の瞬間を、ぜひ親子で体験してみてください。

日時 3月19日(土) 1回目 10:30開演
2回目 13:30開演

場所 市民会館

入場料 【全席指定】1,960円
※3歳以上有料。ただし、2歳以下でお席が必要なお子さまは有料。

チケット販売場所 市民会館、平惣書店 (阿南センター店、羽ノ浦国道店、小松島バイパス店)、フジグラン阿南店、アピカ

問い合わせは 市民会館 (☎22-7000) へ

阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会

会長 湯浅良幸

阿波の藩札(一)

藩札

今回から何回かに分けて「阿波の藩札」を書く。その前に『日本史辞典』に書かれている「藩札」を紹介しよう。それぞれ大同小異なので、『日本史辞典』(山川出版社)を取り上げることにする。筆者は同社から『徳島県歴史散歩』を出しているの

で、この辞典はよく使う。
はんさつ(藩札)：江戸時代、諸藩で発行した紙幣。金札・銀札・米札などの種類があり、短冊形の厚手の和紙に印刷された形態が多い。現存するものでは一六六一(寛文元)年の福井藩の銀札が最初で発行例は



其の110

二四四藩に及ぶ。幕府は一七〇七(宝永四)年札遣いを禁止したが、三〇(享保一五)年に解禁して札発行の先例を持つ藩にかぎりこれを認め、のち米札についても同様の規制を加えた。領内の貨幣不足緩和や専売実施と関連して発行されたが、藩財政の窮乏化のなかで乱発された兌換原則が崩れて領内経済力を混乱させることが多かった。廃藩のため一八七九年までは新貨と交換された。はんさつかいしよ(藩札会所)：江戸時代、諸藩における藩札の発行機関。藩によって札場、札会所など様々な名称があったが、札発行と並行して専売制を実施した藩では産物会所などの専売品統制機関が藩札会所を兼ねた例が多い。藩の勘定方に連なる札奉行の監督下で領内有力者が商人が札元となつて藩札の発行や金銀貨との交換を行うのが一般的形態であった。城下町に設置されたほか交通の要衝には出張所がおかれた。筆者は貨幣史・金融史・経済史の専門家ということになっている。昭和三十一年九月二十日、徳島市立図書館から『阿波貨幣史』(A5版、本文一八〇ページ)を発行してもらっている。

『阿波貨幣史』の前に『藩札の研究』『阿波の藩札』を発行しており、これらの本が鉄谷清徳島市立図書館長の目に止まり、『貨幣史』の執筆依頼



阿波貨幣史
※筆者提供

となった。
鉄谷氏は東京帝大法学部卒で元経済関係の国家公務員で筆者とよくウマが合った。
自分のことを書くのはおこがましいが、二〇一五(平成二十七)年九月十九日付の徳島新聞に筆者が紹介されているので、関係部分を拾い出してみよう。
連載「阿波の民話」三〇〇〇回に到達。世に埋もれたる歴史に光「古銭収集が高じて著した『藩札の研究』『阿波貨幣史』。県内誰も手掛けていない分野で郷土史家の重鎮飯田義資さんや中央の専門家から絶賛され、日本貨幣協会評議員に迎えられるほど。
そのころ『徳島県史』編さん委員十数人の一人に選ばれた。六〇代から八〇代が占めた中、ただ一人二〇代、得意の金融史を任せられた『徳島県史』では貨幣史と金融史は筆者一人で書いたのは事実だが、それまでに「藩札」や「民話」「民俗」についていろいろ発表していたから先輩の目に止まっただけの事である。次号から『阿波貨幣史』を参考にしておくことにしよう。(つづく)

科学センター



ホームページ <http://www.ananscience.jp/science/>

特別観望会 「部分日食観望会」(無料)

約4年ぶりに見られる日食の観望会を行います。当日は太陽観測用の望遠鏡を数種類使つてご覧いただきます。

日時 3月9日(水) 午前10時〜正午
※阿南での日食の始まりは午前10時2分、日食の最大は午前10時55分、日食の終わりは午前11時51分です。
※悪天候時は中止となります。

参加方法 予約不要。当日、実施時間内にお越しください。

わくわく科学の広場 「ペットボトル砲を作る」(無料)

日時 3月21日(振休) 午前10時30分〜11時40分、午後1時30分〜3時30分

参加方法 予約不要。当日、実施時間内にお越しください。

デジタルプラネタリウム(無料)

土、日、祝日の午後1時30分、3時、の2回実施。

3月のテーマ「今夜の星空と北斗七星」
春から夏にかけて良く見える「北斗七星」について、伝承や特徴などを交えてお話をしていきます。(4月24日(日)まで)

科学センター友の会会員募集

科学センターでは、平成28年度「科学センター友の会」会員を募集します。

入会すると、毎月1回、会員向けの自然観察、科学工作や科学実験に参加できるほか、夏と秋にはジャガイモやサツマイモの収穫なども行います。また、特典として、毎週土曜日に行われている夜間の天体観望会が無料になります。

年会費 個人会員 2000円
家族会員 3000円

入会方法 科学センターに備え付けの入会申込書に必要事項を記入のうえ、会費を添えてお申し込みください。

問い合わせは 科学センター

(☎42-1600) へ

3月の休館日

7日(月)、14日(月)、22日(火)、28日(月)